



会社名 ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 兼グループCEO 小野 有理
 (コード番号 6699 東証プライム市場)
問合せ先 専務執行役員 CFO 徳原 英真
 (TEL 06-6302-8211)

親会社株主に帰属する中間純利益については、経常利益増加の影響により、税金費用622百万円の計上があったものの、業績予想値を485百万円上回る結果となりました。

2. 連結業績予想の修正について

(1) 2026年3月期通期連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 94,300	百万円 2,000	百万円 800	百万円 250	円 銭 29.84
今回発表予想 (B)	91,700	2,000	1,150	380	45.07
増減額 (B－A)	▲2,600	0	350	130	－
増減率 (%)	▲2.8	－	43.8	52.0	－
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	91,724	2,270	1,467	411	49.14

(2) 修正の理由

2026年3月期第2四半期(中間期)の実績を踏まえ、売上高は、自動車機器事業で上期に引き続き内燃機関搭載車の増産は継続傾向であるものの、エネルギーソリューション事業では前述したように、海外メーカー参入本格化の影響による値引き構成でのレッドオーシャンが続くことにより、前回発表予想から減収の見込みです。ただし、ブルーオーシャン戦略ひいては新製品発表によって回復を図ります。

営業利益は、売上高減収の影響はあるものの、引き続き社長筆頭に世界中総ての傍楽仲間達みんなでいっしょにものづくりの省人化等を進め、前回発表予想を維持する見込みです。

経常利益につきましては、為替相場の変動影響により、前回発表予想を上回り、親会社株主に帰属する当期純利益についても、経常利益増加による影響、それに伴う税金費用の見直しを行った結果、前回発表予想を上回る見込みであるため、業績予想値を上方修正いたします。

以 上